

## 心嚢液の性状と画像診断に関する研究

近畿大学医学部循環器内科では、何らかの原因により、心嚢液が貯留し、「CT 検査」や「心嚢穿刺（しんのうせんし）」という診療が行われた方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施しています。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究の研究対象となることを望まれない患者さん及びご家族は、その旨、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。調査の対象となることに同意をされない場合でも不利益はありません。

### 1. 研究の対象

2010年4月1日から2020年4月10日までの期間に、近畿大学病院に入院され、心嚢穿刺を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

心嚢液貯留の有症状症例に対して、排液された心嚢液の分析項目と排液前の症状発現時点のCT検査をもとに、後ろ向きに比較解析し、最終的に予後を検討します。

本研究は、近畿大学医学部循環器内科学においてのみ実施され、研究期間は、近畿大学医学部倫理委員会承認後から5年とします。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

通常の診療として心嚢穿刺を実施した際に取得した以下の情報を利用します。

情報：年齢、性別、病歴、服薬歴

検査に関する情報：血液検査、心嚢液、CT検査、12誘導心電図、心臓エコー検査

以上の情報は、事前に本研究に参加することを登録した医師のみが扱います。

### 4. 情報の二次利用

研究終了後、倫理委員会に承認を得た上で検査データを新たな研究に利用する場合があります。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

連絡先：近畿大学医学部 循環器内科 中村貴

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

TEL：072-366-0221 PHS:6830(中村)

研究責任者：近畿大学病院 循環器内科 中村貴